

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校
設 置 部	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	40人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	長胴太鼓 台座付 / 平太鼓 立台座付
使用学年及び人数	高等部(全学年) 40名
使用頻度	教科「音楽」(週1回)
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学期 歌唱にあわせて、手のひらで太鼓を打つ方法でリズム打ちを行った。 →週1回 学年ごとのグループ編成</li> <li>・ 2 学期 「ダンス」、「旋律楽器アンサンブル」、「和太鼓演奏」の三つの中から希望をとり、和太鼓に興味関心を示した8名の生徒でグループを編成し授業を行っている。祭りをテーマにした曲を題材にして演奏している。→ 週1回 学部縦割りグループ</li> <li>・ 2 学期末 グループ発表を予定しており、学部全員が和太鼓演奏を鑑賞する予定</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<p><b>&lt; 2年続けて和太鼓を選択した生徒の事例 &gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポよくリズムを打つこと、さらに人前で演奏することが苦手な生徒がいた。この生徒にとって和太鼓特有のテンポ感は、周りの友達と合わせやすいようであった。昨年度の授業でも練習を重ねるごとに自信をもち、まとめの発表では、周りの友達と音を合わせて打てるまでになった。</li> <li>この生徒は、今年度も和太鼓を選択した。昨年度覚えたバチの持ち方や打ち方を周りの友達に伝えることができるようになっていた。また、昨年度よりも、さらに自信をもち大きな音で太鼓を打つようになり、掛け声も大きくなった。そして、楽しく活動に参加することができている。特有のテンポで演奏ができる和太鼓は、音楽に苦手さを感じる生徒にとっても意欲的に取り組める教材であると改めて感じた。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤楽器と比べると、奏法がシンプルであるため、自信をもって演奏できたり、テーマに沿った表現を考えたりすることができるため、引き続き音楽の時間に使用していきたい。</li> </ul>
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県西部地区は地域行事としての「祭り」が盛んであるため、これと絡めた和太鼓の題材を組むことで、生徒の興味関心を引き出しやすかった</li> </ul>

## 2. 活用の様子

### 和太鼓グループ



練習を重ねるごとに太鼓の音が  
あってきました



**音楽**  
和太鼓  
テーマ  
「祭り」

